

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	KID ACADEMY+ 浦添校		
○保護者評価実施期間	R6年 11月 18日		R6年 11月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 5名
○従業者評価実施期間	R6年 11月 17日		R6年 11月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 12月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用者が楽しんで利用できており、療育を行う事で成長がみられている。 ・一人ひとりの特性を鑑みてカリキュラムの実施や保護者への共有を行う事ができている。	・利用者さんに楽しんでもらう事を職員の共通認識としてそれぞれの個性や特徴にあった療育を行うように日々相談・情報共有をしている。 ・カリキュラム研修で知識を深めて、それを現場で還元する事や保護者への引継ぎ等でのコミュニケーションを大切にしている。	・外部研修等を取り入れて、療育の知識・内容をより深める事をしたい。 ・定期的な保護者面談を定着させて、より保護者と事業所の連携や情報共有ができるようにする。
2	柔軟な送迎、時間調整の対応	・園や保護者と密に連携を取る事で園の行事・園の集団活動に参加できるよう、送迎時間の調整や送迎場所の変更での対応ができている。 ・送迎開始前の職員のアルコールチェックや健康管理の徹底が行えている。	送迎サービスに限らず、ご家族の状況に合わせた支援時間の配慮・調整を行えるよう、ICTの導入等で車両の位置情報の共有等を行うなどを検討する
3	様々な専門知識と資格を有した職員体制で幅広い支援や職員間の情報共有ができる。	職員間で、それぞれの利用者について様々な方向からの視点を持った意見の共有で支援の幅を広げる事ができ、職員個人の知識ともなっている。	意見の内容にエビデンスを持てるようにするために職員それぞれが専門分野についての学びを行ったり、それ以外の新しい分野についての学びも取り入れていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援教具はあるが、提供方法やカリキュラムの内容が固定しがちとならないよう、1つ1つの教具での支援方法のアイデアをさらに増やす、工夫する。	アイデア・検討・購入・導入までに要する時間かかってしまうことがあるため、支援までの提供スピードや目標を明確にする必要があった	・購入案を出す前に、職員間で具体的な活用方法や、事業所内での必要性や導入する事で期待される効果を提示する。 ・職員のアイデアを増やすために日々のカリキュラムから感じた改善点や新しい視点の意見交換を行う。
2	災害・事故に備えた防災訓練や災害時の対応方法などの保護者との共有が行えていない。	防災訓練の実施や避難の対応方法・保護者への連絡方法等の常に共有できる体制を整える必要があった	ガイドラインに沿ったBCPの制定・定期的な見直しと職員間での周知を行う。
3	保護者が参加できる勉強会や事業所でのイベント等が実施できていないため、保護者への理解度や満足度向上の機会を作る必要がある	開所1年未満のため、事業所でのイベント(入所式や卒所式)や行事を予定する立案が少なかった。	・保護者から勉強会で知りたい内容の情報収集を行う。 ・他児童発達支援事業所がどのような行事や保護者参加ができる勉強会やイベントの情報収集をする。